

2021年9月1日



月刊

# もぐら通信

2024年5月1日 第138号 初版 <http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ：  
迷う事のない迷路を通して  
あなただけの番地に届きます

もぐら通信を自由にあなたの「友達」に配付して下さい



安部公房の広場 | [www.abekobosplace.blogspot.jp](http://www.abekobosplace.blogspot.jp) | 問合せ：[takranke2003@yahoo.co.jp](mailto:takranke2003@yahoo.co.jp)

『S・カルマ氏の犯罪』の最後に登場する  
非ユークリッド空間を映写する映写機

## 目次

- 1 目次…page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩 (23) : 心 : 安部公房……page 7
- 4 周辺飛行 (48) : 4. 『安部公房スタジオ会員通信』 (3) : 第3号 : 岩田英哉…page 8
- 5 『文章読本』論 (2) : 2. 1885・明治18年 : 坪内逍遙 (26歳) 安政生 (江戸幕末) : 『小説神髓』 : 岩田英哉……page 14
- 6 糞尿と性愛の文学～生殖器・排泄器同一社会論仮説～ (3) : 1. 古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后 (きさき) の出生譚 (2) : 待て次号 : 岩田英哉…page 17
- 7 ネット・モナド論 (20) : 7.4.5 都市とは何か : 岩田英哉…page 18
- 8 私の本棚 (37) : ベン・シャピロ著『アメリカを簡単に破壊する3ステップ』 : 岩田英哉…page 19
- 9 *Mole Hole Letter* (61) : 超越論 II (第四回) : 岩田英哉…page 24
- 10 縄文紀元論 : Topologyで日本人を読み解く (17) : Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か : 岩田英哉…page 30
- 11 Topologyで日本の文化を解説する : 内なる境界シリーズ (12) : 扇 : 岩田英哉…page 43
- 12 編集後記…page 44
- 13 編集方針……page 45

The Best Tweets of the Month

Golden Mole  
Prize

該当なし

Silver Mole  
Prize

該当なし

今月の死刑

Hidenobu KUBO 久保英信@tucan・Aug 11

図書館へ本を返しに行ったら、ご自由にお持ちください状態の  
除籍本があったので頂いてきた。安部公房、星新一、江戸川乱歩。

[https://instagram.com/p/CSbwFmZBW\\_V/?utm\\_medium=twitter](https://instagram.com/p/CSbwFmZBW_V/?utm_medium=twitter)



今月の安部公房

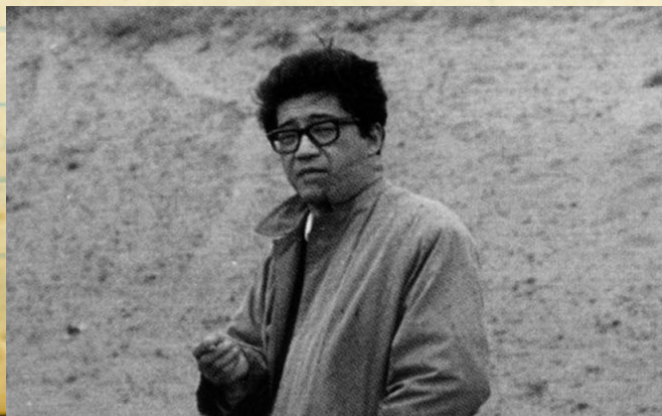
Dondon media #1 Actus et Bons Plans du Japon Flag of Japan

@dondonmedia・Aug 7

Writing hand[BIOGRAPHIE] Connaissez-vous Kobo Abe (#安部公房) ?

Pseudo d'Abe Kimifusa c'est certainement le romancier et dramaturge  
japonais le plus influent du 20ème siècle EyesDown pointing backhand index

<https://dondon.media/kobo-abe-biographie/>



## もぐら通信

### 今月の公演

岩男 海史@iwao\_kaishi・Aug 12

愛する兄弟が出来て最高です。

安部公房と取っ組み合いの日々Red exclamation mark symbol

Quote Tweet

シス・カンパニー舞台制作

@sis\_japan

・ Aug 12

Tropical fish\『友達』稽古場より/Tropical fish

これから毎週、

稽古場より動画をお届けいたしますBouquet

今回は～Down pointing backhand index！

\*\*\*\*\*

長男 #林遣都 さん

次男 #岩男海史 さん

三男 #大窪人衛 さん

三兄弟のコメント動画です！



Down-pointing triangleこちらよりご覧くださいEyesSparkles

<https://youtu.be/DT68M7KuviE>

\*\*\*\*\*

#SIS友達

#稽古場



おさむΣ--☆@tanishimart920・Aug 12

9月はこちらが楽しみなのです。

安部公房御大の世界がケラさんによってどう演出されるのか 音楽が上野さん、振付が小野寺さんってこれまた最高にワクワクで（まずふじろの準備を終わらせる自分）

## もぐら通信

### 今月の桜

うたうたいbot@hirari\_ktnh・Aug 13

ぼくは桜の花が嫌いだ。闇にたなびく雲のような夜桜のトンネルをくぐったりする時、美しいとは思う。美しくても嫌いなのだ。日本人のなかにあるもう一つの桜のせいだろう。

『エッセイ「方舟さくら丸」/安部公房』

### 今月の友田義行

カラシニコフ(本の話)@kalashnikovread・Aug 8

友田義行著『戦後前衛映画と文学 安部公房×勅使河原宏』を読みました。安部公房原作・脚本、勅使河原宏監督の作品を取り上げた評論です。

『おとし穴』から『燃えつきた地図』までの特徴を詳細に述べてました。

二人の経緯や馴れ初め、原作と映画の比較があって、難解でしたが、面白かったです。#読了

### 今月の電子書籍化渴望

うぐい@KitanoUgui・Aug 11

電子書籍で安部公房が欲しい

何故か無い

本人は文庫では出さないと言っていた埴谷雄高だって電子書籍あるのに

春泥@shunday\_o・Aug 6

13：安部公房『夢の逃亡』芥川賞受賞前の初期短編集。今まで読んだことなかったやつでびっくり。全集は読んでないし、当時書店を回って買い集められるものを読んだだけだからまだ読んでない「新作」があるかも。しかし、電子書籍化してほしいなあ安部作品。

### 今月の箱男

ユカフェス 4/11日黒鹿鳴館延期になりました 公式アカウント

@LI20DHukgY1AWtx・Aug 9

安部公房「箱男」大好きだった

ダンボール箱を頭から腰まですっぽりとかぶり 覗き窓から外の世界を見つめて都市を彷徨う「箱男」の記録の物語 実験的手法のシュールな純文学なのだが 俺的には筒井康隆な世界観を感じた ド嵌まりしてスケッチブックに箱男を描いたり 楽曲にしたりした

ユカフェス Sleeping face

# 箱男

## 安部公房



群衆には異端の目がとこめられる。人は自らを多  
 くの身分を知る。虚言の空想を夢見る時にこそ  
 だ。その瞬間の群衆から自分がはき出される。  
 見放された人に、誰でよいのか知らずさまよ  
 りながら、道もわからない道には、何事もなく  
 ありうることにたどり、空虚な夢に人である、わか  
 りにそれが道を見捨ててしまっていることばかりだ  
 民衆の夢である。そんな夢にほだされて人ほどよまで  
 拡大するものだろうか。  
 安部 公房

**今月の頭木弘樹**

頭木弘樹 Closed book UC 新刊 『ひきこもり図書館』『食べることと出すこと』 4  
 刷御礼 キノベス！ 7位・21h

人類の歴史は弱者の生存権の拡張だった。社会の能力が増大すればするほど、より  
 多くの弱者を社会の中に取り込んできた。弱者をいかに多く取り込むかが文明の尺  
 度だったとも言える。

安部公房



**今月の箱男**

犬型ケイブ (noteに@inugatacave・Aug 10  
 安部公房の自宅内部構造



**今月の公演2**

◆見えない演劇「時の崖」「桃太郎」  
 (8月8日13時半と15時半、佐賀市高木町の古賀空手道場) 演劇家の青柳達也  
 さんとC 摩琵琶奏者の北原香菜子さんが、アイマスクをした観客の前で見えない演  
 劇を上演する。演目 は13時半から「時の崖」(安部公房)、15時半から「桃  
 太郎」(芥川龍之介)。約45分の上演後は、約15分のアフタートークも楽し  
 める。視界を閉ざすことで研ぎ澄まされた感覚が、新たな世界の扉を開く。  
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/713077>

巻頭詩

(23)

笑ひ

安部公房

心

海水に守られる魚の様に  
僕等は心に守られる  
呼吸し 泳ぎ 重さも知らず  
深々と顔をうづめて  
たそがれを祈る  
夜更旅人を招く灯の様に  
心は郷愁の標しるしとなる  
涯しほしない世界がそこから開けて来るのを  
誰かがそつと告げてゐる  
夜明までにその扉を叩く事が出来ようか  
疲れや 涙や 恥じらひが  
じつと待ち受けてゐるその扉を  
暗闇の中でふと両手を組んだ  
右手は左の 左手は右の  
一つ一つの指  
又無数の運命の編目を  
僕は判然り感じてゐた  
さうだ それも心の追憶だった  
知らぬ間に名付けおはつて  
僕らはその名前を不思議とも思はない  
唯 海だけは知つてゐる  
深々と太陽を呼吸しながら  
その波が風のたはむれである事を

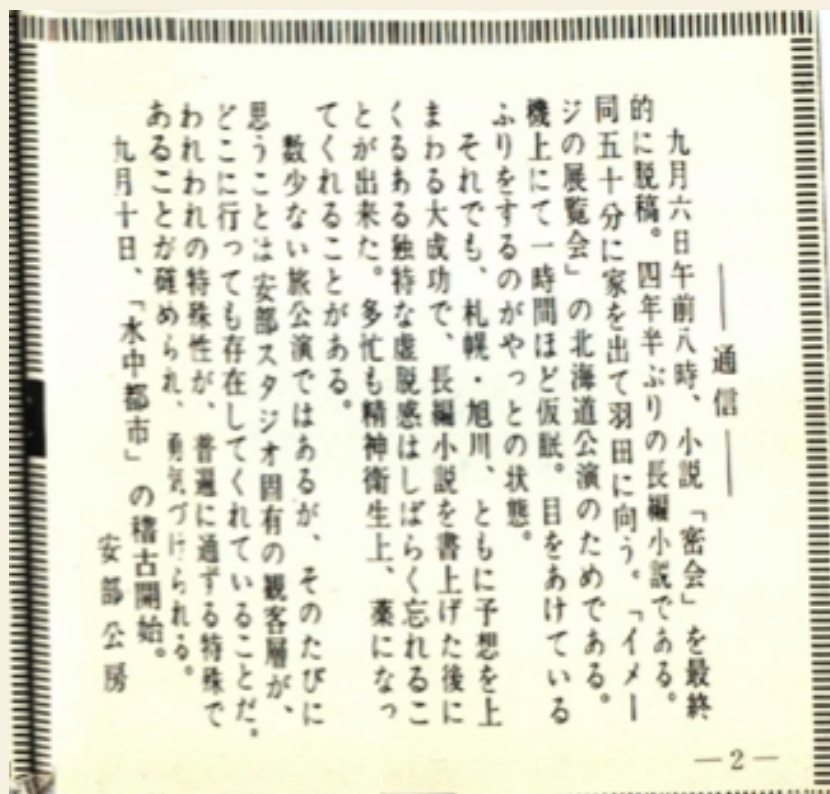
周辺飛行

(48)

4. 『安部公房スタジオ会員通信』について

(3)

岩田英哉





水中都市白書（倒産が見込まれる職種）

海女・潜水夫・アクアラング屋・楽器・航空会社・自動車会社・汽船・自転車屋・沿岸荷物運搬業・自動車教習所・花火屋・消防署・放火魔・マツチ・ライター屋・煙突そうじ・燃料屋・海上火災保険・火災報知器・換気装置・焼却炉・ストンプ・製紙会社・ふとん屋・畳屋・毛皮屋・羽毛製品・洗い張り・おけ・たる屋・わら細工品・うちわ・オブラート・紙芝居・ほうき・松葉杖・傘・雨具屋・体重計・湿度計・木こり・風呂屋・植木屋・相撲・シツカロール・屋台（おでん等）・声優・茶道家・華道家・ペンキ屋・かわら屋・おせんべ屋・干めん・高野豆腐・貸おむつ・カイロ・キセル・きのこ栽培・きやたつ・はしご・灸・救命具・スキー・スケート場・球技場・ゴルフ場・曲芸・登山用品・避雷針・落下傘部隊・香水屋・橋かけ・土木業・河川しゅんせつ・古書籍商・しょうのう・起重機・ガソリンスタンド・噴水・つり堀  
その他多数

— 3 —

76キ

THE SYNTHESIZER

"Weh, weh," the actors shouted, and in the shadows of the theater Abe Kobo moved his hands up and down, his wild conductor's hair bobbing like an extension of the paths of his brain. On stage was an upheaval between the human and the non-human, and Abe wasn't directing this, he was orchestrating it, like a Schonberg of screams. Stretching one voice, letting another fade, he was like a synthesizer searching for a scale of notes in a moment without order.

The star's ego had withdrawn, and the fish breathed on stage with a vigor and rhythm all their own. Metaphors without fat danced across the infinitely widened stage. One motion was stretched, another allowed to fade. Then the realms upheaved again - "the fish died, drowning in the air." I realized that the sea is the land without roads, that beyond the shore where all roads end lies another city.

And I wonder what storms, mental and metallic, will blow through its bends this time.

Ian Hideo Levy

— 4 —

76キ

キル

ザ・シンセサイザー リービ・日出雄  
 「ウエーウエー」と役者たちが叫んでいた。劇場のかげの中で、頭脳の道がそのまま延長したような、指揮者の乱れた髪をひよいと動かした安部公房が手を上下していた。舞台の上は人間と人間ならぬものの逆転だった。安部さんはこれを演出していたのではなく、叫び声のシヨーンベルグのように編曲していたのだ。シンセサイザーのように秩序のない瞬間の中に音階を見つけ出そうと、一つ一つの声を伸ばしてもう一つを消した。スターのエゴが後退した舞台で魚たちが彼らなりのリズムと精力で呼吸していた。「贅肉のない」比喩が無限に広くなった舞台の上を舞った。一つの動きを伸ばしてもう一つを消した。そして境地がまた逆転して、「魚は空気に溺れて死んだ。」道のない国は海であり、あらゆる道が終る渚の向うにもう一つの都市があることを知った。そして今度はその屈曲に、どんな金属的かつ心的な風が来るだろうか。

プリンストン大学助教授

キル

一枚の切符  
 悲しみの水に沈んだ



魚人間の住む街への招待状



Photo 安部公房

キル

オル

秋の西武劇場本公演

ガイドブック1・2に続くガイドブックシリーズ第3弾!

安部公房・作・演出・音楽

「水中市」GUIDEBOOK III

所・西武劇場

E・11月5日～11月27日

公演に先だち前売り券の発売を10月1日より開始いたします。今回は、会員の方々には二千円を千五百円に割引、特別に安くご覧いただくと同時に、入場券を、お買い下さった会員の方々の内から、抽選で百名様を10月3日の公開舞台稽古に招待させていただく計画を立てております。又、会員以外の方でも、十名様以上まとまっていたければ、団体割引(一名様千五百円)がご利用できます。ご希望の方は、安部スタジオに直接おいで下さるか、同封いたしました入場券申し込み月紙にご記入の上、お送り下さい。又、お電話での御予約もお受けします。詳細は、追ってご連絡いたします。

キル



Photo 山田信

「イメージの展覧会」ミニ台本

オーフニンク……舞台全面に広がる一枚の右  
 警察無線による緊急手配……突如、布、人間に  
 変身して登場……脱出しようとして、もかく影たち  
 ……闇を嗅ぎまわる仔象たち……5人の楽士登場  
 (旅への誘い)……靴につれられてさまよう男登場  
 ……事務所でのトラブル……所長、靴をこっそり  
 開ける……なかに貝殻草だった(貝殻草のにおい  
 を嗅ぐと魚になった夢をみるという)……W型ス  
 クリーンに鰐魚の映像……閃光のように踊り出る  
 魚の群……無重力の世界……鰐魚の哀しみ……監  
 ……嵐の精、めざめを勧める……逆墜落……鰐魚  
 の埋葬……(でも、夢はさめない)……何故か出  
 てくる消防士……消防士にも消せなかった悪夢……  
 ……長い旅のあと……夢の中で夢の魚は象になった  
 夢をみた……象の存在に関する二つの矛盾する否  
 定的考察(Aレスリング、Bテニス)……小さな眼  
 に涙をうかべて燃える仔象……(弱者への愛には  
 いつも殺意がこめられている)

「初舞台」

今年の三月、僕達四人——沢井正延・金学隆・  
 平野稚子・夏目京子——とスタジオとの出会いが  
 始まった。

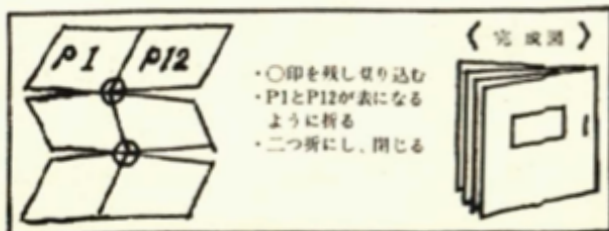
そして初めての芝居が今回の「イメージの展覧  
 会」。スタジオとしても新しい試みで、皆も多少の  
 戸惑いはあったが、僕達新人はそれ以上であった。  
 兎に角、今迄経験した芝居とは異なり、ある核  
 となるイメージを形にし、その中にどれだけのイ  
 メージのふくらみを持たせ観客に訴えるかが勝負  
 になる。そして、その媒体となるものが、あの布  
 であり、それ以前に僕達の身体・声であることが知っ  
 た時、今迄以上に肉体訓練・発声の重要さを感じた。  
 そして、その「イメージ」というものが、一体  
 どういう物なのかと考える時にも、今迄あまりに  
 も「言葉」というものに頼り過ぎていた事や、何  
 でも意味づけしたくなる自分を見付けた。  
 果たして僕達は「イメージ」に成り得ただろうか。

新人四人

イメージの展覧会を見て

- グループがスタイルを持って  
いるために、このイメージ、舞台がエロティックになったと思  
う。とても面白かった。人生  
にはプレイが大事だと思った。
- 肉体の不可思議さを思い知っ  
た。なんと表現して良いかわか  
らない程、胸が高ぶっている。  
この興奮がさめる時が来ぬよう  
このまま消え入りたいたいよう  
だ。
- 幕がない幕のある立体面
- 立体、天然色の小説の中にい  
るような痛快感を受けました。
- 観念とイメージの見事な合  
一。今まで見て来た小劇団のり  
りシスムを打ち破った、何もの  
かがあると思われる。
- 鉄管吹くのを、箱で音を出す  
のは僕らの方がうまいです。
- 立見の人がかわいそう。

(公演アンケートより)



- ・○印を残し折り込む
- ・P1とP12が表になる  
ように折る
- ・二つ折にし、閉じる

来年度公演予定とお知らせ

「イメージの展覧会」の北海道公演は、大成功のうちを終らせて頂きました。しかしこの作品はここで終らせることなく、安部スタジオの大事なレパートリーの一つとして残していきたいと思っ  
ています。そのためにもこれからは地方からの招き  
には、極力応じるように努力して、地方公演を増  
し、さらにこの作品を練り上げて行くつもりでい  
ます。

来年のスタジオの公演予定は以下のように決定  
しました。

3月15日〜21日「イメージの展覧会」西日本公  
演(名古屋・大阪・小倉・博多・長崎・他)

6月……西武美術館公演  
11月……西武劇場本公演

(ご期待下さい。)

尚、通信費をお送り下さる方は、お手数ですが、  
現金書留が現金持参、あるいは切手郵送でお納め  
下さい。(口座の利用はいたしません)

また、スタジオの住所の表示が変更しました。

旧 宇田川町 四―十二 山手マンション地下  
新 宇田川町 十九―五 山手マンション地下

## 『文章読本』論

## (2)

岩田英哉

## 2. 1885・明治18年：坪内逍遙（26歳）安政生（江戸幕末）：『小説神髓』

一連の文章読本に先立ち、最初に明治の御世に小説を書かうといふ若者たちのために坪内逍遙の書いた『小説神髓』を論じて、以後の道標べとしようと考えたこととは誤りでした。この小説本質論はやはり一般読者向けのものではなく、あくまでも明治維新後の新しい時代に小説とは何かを論じて其の神髓・本質を伝えるための本ですので、作家と社会の関係を言語の、それも文章の読み・書きといふ観点からの論足りえないのでした。しかし、この小説論は均衡のとれた、明治の時代といふヨーロッパの文学を輸入した当初も当初に書かれたものであるにも拘らず大変優れた小説論で、その内容を整理して作成した項目を掲げると次のようになります。

1	小説の定義
2	小説の起源と歴史
3	小説の分類
4	小説の主題
5	小説の有用性
6	小説の文体
7	小説の脚色
8	主人公論
9	叙事法

これに対して、既に検討した夏目漱石の『文学論』は、その $Y=F(F+f)$ の方程式の形式上の単純さにも拘らず、実践に於いては非常に複雑な様相を呈してゐるのは、坪内逍遙が評論家または理論家に留まつてゐてよかつたのに対して、漱石は実際に新しい文体を生み出して、小説を書いて生計を立てねばならない小説家そのものであるといふ違ひによるものです。逍遙の論立てがバランスのよくとれてゐるのに対して、漱石の文学論は非常に細部に立ち入つて、率直にいへば全体の叙述の仕方が偏つてゐる。しかし、これが漱石の必要とした小説の定義であり分類であり小説の有用性であり小説の文体であり小説の主人公論であり小説の叙述法であつた。たとへ、後

年学習院の生徒たちを前にして、この文学論が漱石の努力の「記念碑といふよりもむしろ失敗の亡骸（なきがら）です。」と述べたにせよ（『私の個人主義』）同じ英文学に学んで、小説論にこれだけの差のあることは、やはり理論家と実践家の違ひに帰せられるべきものです。

坪内逍遙がたつた26歳で、これだけの優れた小説本質論が書けたのには、それだけの理由があります。中村光夫著『明治文学史』から引用します。要するに、逍遙は、尾張徳川にあつて、江戸の人々と同じ江戸文学の教養を備へた若者であつた。これは参勤交代を含む江戸時代の幕藩体制（封建制度）が日本の文明開化を可能ならしめたといふことであり、この場合の可能ならしめたとは、欧米からの文明論の水準での重圧に耐へることを可能にしたといふ意味です。彼とは逍遙のことです。

「彼の文学趣味の根本は名古屋で養われました。当時の名古屋は旧幕時代から文学遊芸のさかんな土地で、維新の影響を直接うけなかつたので、江戸文化の名残が、東京よりも濃くのこっていました。逍遙はこういう雰囲気の中かで育ち、早くから歌舞伎に親しみ、ことに大惣という貸本屋に出入して江戸文芸を耽読したことが、彼の生涯の進路を決定しました。（略）

彼の教養の素地は、旧派の江戸文学と歌舞伎によって形造られましたが、それらの文学にたいする彼の愛着は真実なもので、彼の希いはこの愛着と彼が大学でうけた新しい教育とそれに伴う社会的地位を調和することにあつたと思われまゝです。」

（同書94ページから95ページ）

同様に江戸時代を継ぐものとして、漱石の教養の基礎が漢学、殊に漢詩文にあつたことを私たちは忘れてはなりません。要するに、歴史に断絶はない。何故なら文化は脈々と続いてゐるから。この継続の上に明治の文学が成り立つてゐる。明治の文学がこのやうに成り立つてゐるならば、明治以降の文学も程度の差こそあれ、同様に、表は如何に様々なる意匠を設計しようとも、この継続の上に成り立つてゐる。

中村光夫著『明治文学史』は名著です。

さて、それでは、最初の谷崎以降の文章読本の見通しは如何にといふことで、時代別・年代別に次のやうな比較表を作成しましたので、ご覧下さい。

2021/08/13 岩田英哉		文章読本内容項目分類								
時代	明治時代	昭和時代								
西暦	1885年	1934年	1937年	1950年	1954年	1959年	1975年	1977年	1987年	1988年
元号	明治18年	昭和9年	昭和12年	昭和25年	昭和29年	昭和34年	昭和50年	昭和52年	昭和62年	昭和63年
著者	坪内逍遙	谷崎潤一郎	菊池寛	川端康成	伊藤整	三島由紀夫	中村真一郎	丸谷才一	井上ひさし	吉行淳之介
項目	小説神髓	文章読本	文章読本	新文章読本	文章読本	文章読本	文章読本	文章読本	自家製文章読本	文章読本
1	小説の定義									
2	小説の起源と歴史									
3	小説の分類									
4	小説の主題									
5	小説の有用性									
6	小説の文体									
7	小説の脚色									
8	主人公論									
9	叙事法									

この一覧表を見て判ることは、全ての文章読本は昭和時代に書かれて昭和時代に終はつてゐるといふことです。其の後の平成・令和には、小説家は文章読本は著さなかつた。この事実は、政治・経済・文化の領域を問はず、昭和の時代の何か何処かに通じてゐる筈です。

以上の記述にも拘らず、逍遙の『小説神髓』は、以後も、必要に応じて言及し又は引用したい。

### 3。1934・昭和9年：谷崎潤一郎（49歳）明治生

（続く）



糞尿と性愛の文学

～生殖器・排泄器同一社会論仮説～

(3)

岩田英哉

1。古事記の中の糞尿と性愛

1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）



岩田英哉

目次

- 0. はじめに
- 1. 国家とは何か
- 2. 用語の定義
- 3. メディアとは何か
- 4. ネット・モナド論
- 5 公私とは何か
- 6. 二階層戦争論とメディア論の関係
- 7. 政治形態と自由
  - 7.1 政治形態とは何か
  - 7.2 自由とは何か：私たちの自由およびlibertyとfreedomの違い
  - 7.3 ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係
  - 7.4 メディア・プロパガンダの構造
    - 7.4.1 中国の超限戦の手口について
    - 7.4.2 ネット大衆と情報の真贋
    - 7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか
    - 7.4.4 疎外とは何か
    - 7.4.5 都市とは何か
  - 7.5 政治形態EとAの公私：一神教のtopologyの政治形態
  - 7.6 政治形態Jの公私：高天原のtopology（超越論）の政治形態
- 8. 経済形態と自由
  - 8.1 経済形態とは何か
  - 8.2 資本主義と政治形態Jを如何に一つにするか：江戸時代幕藩体制下の信用取引に学ぶ
  - 8.3 ネット・メディアの役割
- 9. 私たちは如何に生きるべきか
  - 9.1 学歴無用論：盛田昭夫著『学歴無用論』
  - 9.2 学問有用論：福沢諭吉著『学問のすすめ』
  - 9.3 グローカリストとしての千利休と後裔たち（令和時代の人間像）

\*\*\*

7.4.5 都市とは何か



私の本棚（37）

ベン・シャピロ著『アメリカを簡単に破壊する3ステップ』  
（原題『How to destroy America in three easy steps』）

岩田英哉

この本はまだ和訳が出ていません。しかし、アメリカ人の英語ですから、それもYouTuberとして政治評論で有名な著者の文章ですから、多数の不特定の視聴者と読者を相手にして論旨明快、話は単純、お蔭でこれまでアメリカといふ国について一体この国は何なのだといふ私の素朴な問いに正面から答へてくれてゐることは誠にありがたい。以下、私の読んだアメリカといふ国の、日本人から見た実相といふべき知識であり、この事実から何を学ぶかといふ教訓を汲むための要約と紹介、それに受験生風にいへば、傾向と対策です。

教訓については、次の二つがあるでせう。

1. 私たちが学んではいけないこと
2. 私たちが学ぶべきこと

教訓といふのは大体が、あとで失敗を反省して、ああしてはいけない、かうしてはいけないといふ（英語でいふ）lessonですから、大方が上記1の教訓ですが、中にはやはり、AMERICAといふ国と交流と交渉をするために学ばなければならないといふ教訓の上記2もあるといふことになります。安部公房の大好きだつたルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』の言葉遊びみたいに、lessonを学ぶと、過ちを犯すこともless・より少なくなれば、lessonを受けたといふ功德があるでせう。さて、果たしてさうか。

Ben Shapiroを読み進めてみると、今の内戦の本質がよく描かれてゐます。私が外国人であるから余計によくわかるのです。これは日本人の読むべき本です。近代の資本主義と民主主義の構造が非常によくわかります。そしてマルクスが何を考え主張したのかも。民主主義を論じてみても語彙が違うだけで、論理はマルクス主義です。バーニー・サンダースは若者に受ける筈です。さて、これは一体何かといへば、

今のアメリカは宗教戦争の渦中にある

といふことです。

アメリカはヨーロッパの鬼子です。ユグノーが、これが最初のフランスから来た

異端で弾圧をカソリックに受けてやってきた移民のわけですが、依然として聖書の世界で戦ってゐる。アメリカの敵は旧約聖書の世界そっくりの偽物の世界観を広げて見せてゐる極左・共産主義者たちです。イデオロギーとは要するに、結局は、方舟思想（選民思想）と終末思想からなつてゐる大衆化運動です。そんな馬鹿でかい方舟などあるわけではないのがあると妄想させて（これがプロパガンダの目的）さあ乗船しよう、さうすれば救われるといふ大衆扇動運動です。新約聖書の上に生きるプロテスタントといふ正教徒（と文字では書くべきでせう）に対して、旧約聖書のこの二つの思想に乗ってゐるイデオロギー人間たちが法律の世界を支配して物理と論理の両方の階層で暴力を振るつてゐるといふ構図です。

BBS制作、ジェレミー・ブレット主演の傑作シャーロック・ホームズを見てゐたら、イギリスのヴィクトリア朝時代のロンドンでユグノーが造幣局ではなく造幣所の経営をしてゐるといふ言及が会話の中に出てきたので、といふことは、局ならば公に政府に公認されてといふ意味ですが、さうではない形でポンド紙幣を民間企業として印刷してゐる請負業務を政府から受託して当時してゐたといふことを意味してゐます。このユグノーたちはどこかでユダヤ人の国際金融資本と紙幣造幣といふ下層の作業の製造の世界で結びついてゐたに違ひなく、これはこのままアメリカにやって来て依然として今も生きてゐるのではないかと私は思ふのである。

1972年にアメリカで大流行したアレックス・ヘイリーによるノン・フィクションの歴史小説は『ルーツ』といふ題で、作者のアメリカの黒人の先祖探してアフリカにまで遡る個人の話でしたが、今は今度は白人種たちが自分たちの集団のルーツ探しをして、結局独立戦争・独立宣言を自分たちのルーツだといふ勢力と（新約勢力と呼ぶことにする）、さうではないといふイデオロギー勢力（旧約勢力と呼ぶことにする）の全面戦争だといふことです。といふことは、宗主国たる大英帝国の影響から逃れることは、アメリカにはできないといふ構図の中で、この宗教戦争を眺めるといふことに、異教徒の私たちは、なります。

読みながら、キンドル版のメモ機能を使って随分の量のメモができて来ました。が、戦争の実相を知れば、実にこれは根深いヨーロッパ・アメリカ間問題と呼ぶべき問題です。もう私たち有色人種を巻き込んで、域外諸国の国民に碌でもない迷惑をかけることはやめにしてもらひたい。

如何にこの戦争から逃げ出すかを考えるのも国家としては日本の選択肢に大いにあります。この本を読みながらの、これが私の結論であり、提案1です。

## 1。日本は国際連合（United Nations）から脱退する。

これが、一番日本の自主防衛と「戦後レジーム脱却」のための国際政治環境一新の第一手、囲碁ならば、国際政治ゲームの初手です。かういふことを国際政治水準での維新といふのではないのか。

日本人から今のアメリカを眺めたら、やつてられねえなあ、お好きにどうぞといふところですが、国連を一度脱退して、海外諸国からのご要求には個別に応じませうといふ態度が一番我が国の安全保障にとっては最善策だとやはり此の本を読みながら思ひます。何故ならば、私たちは超越論の国、縄文思想の国、再帰的な国家だからです。即ち、日本は日本である。といへる一国一文明の国なのです。つまり、アメリカのやうに他国に頼つて孤立を恐れる必要がないのです。アメリカが最も恐れてゐるのがアメリカの孤立であることが、B.S.の文章を読むとよくわかります。伝統と歴史のない、本質は、共産主義国家だからです。以下私のキンドルのメモより引用します：

結局、Ben Shapiroのいふアメリカの素晴らしさと主張してゐる素晴らしさは、外部に出ていって同じ価値観（自由と民主主義その他寛容などの徳目までも含めて）を海外諸国に共有させることである。アメリカの自立・独立の宣言書では不安なのである。何故ならそれは一方的な宣言にしか過ぎないから。場合によつてはいつも戦争になる。さう、それを認めさせるには武力しかないのだ。それでその証明を外部の諸国に求めてゐるのだ。これは独立宣言由来のものであるから、この宣言を自ら絶対化すれば、この宣言の解説も宣言の正しさの証明も確かに不要なのであり、undeniable・否定不可であり、perfect obvious・完璧に自明なのである。この二つの形容詞は、シャピロが好んで頻繁に独立宣言について述べる時に使ふ言葉です。ほとんど、慣用句と化してゐる。ここで独立宣言の分析はできないが（これは後日の課題とします）、ここまで読んで判ることは、アメリカといふ国とアメリカ人にとって、1776年の独立宣言は、この記念碑の立つ此処で思考停止になるので、これは思考停止である以上、そのままこれはイデオロギーと化すといふことなのであり、この記念碑の立つ此処でこれは全く共産主義的なイデオロギーに等しいものに化するといふことです。ここに思考停止したアメリカの独善があるが、しかしアメリカ人は気づかない。何故なら独立宣言はundeniableであり、perfect obviousであるから。

この建国の記念碑が極左・共産主義者に破壊されたら、アメリカ合衆国は州単位に分解し、分裂して、建国以前の状態に戻る。他方、中国も今の中国共産党が崩壊したら、同様に四分五裂して、歴史的にいつもさうなるやうな戦国時代にな

る。二国は、あちらこちらで既に述べたやうに、ともに共産主義国家としては合はせ鏡の二国である。

さて、提案1は、結局現行日本国憲法第九条改正の最大規模の環境づくりの一つです。文字を浅知恵で小手先でいぢつても根本的な解決にはなりません。自他称保守人間は「戦後レジューム」を如何に脱却するのか課題だつたやうに聞いてみるが、さうであれば、だったら、国連脱退しかないだらう、国際囲碁大会での日本の初手は（チェスでもいいけれど）。

ついでに、日銀法の改正（場合によつては商法の改正）についてもお願いしたい。此処でも詳細は述べないが、今の商法では、日銀と云ふ東証NASDAQ上場の民間企業の51%の大株主が日本政府であるといへども、この日銀といふ民間企業の株主であるロックフェラーとロスチャイルドが組めば、商法の現行規定に従ひ、大株主である日本政府の決定であるべき日銀株式会社の取締役会の決定が、二人の株主の連携によつて拒否されるのである。

さて、しかし、もう一つ最近痛切に思った憲法改正事項について伝えたい。それは、今の政権の経済再生担当大臣が、中華謹製ウイルスの蔓延防止のための政府の緊急事態宣言措置に従はねば、飲食店に対して銀行を通じて金を貸さないやうにするといふ記者会見を開いたといふことから、私は今の政権は狂気の政権であると断じ、アメリカの憲法のやうに次の条文を今の憲法の最後に第百四条として追加すべしといふ提案です。即ち、提案2は、

## 2。日本の総理大臣が狂気に陥つた場合の総理大臣罷免・交代手続きについて

この憲法改正が必要です。今の（秋田県出身なので私がさう仇名をつけて呼んでゐる）ナマハゲ政権のナマハゲ総理と部下たる（経済再生担当大臣に限らぬ）大臣たちの、全ての大臣とはいはぬが、しかし死人のやうな無表情を見てゐて、憲法を読むと、この規定がないので、これは第九条改正とともに一緒になすべきことです。国民の反対はない。あるとしたら極左・共産主義者からの反対のみ。今の憲法の最後の条に第百四条として総理大臣がキチガイになつた場合の緊急事態条項を付加するのです。

問題は今のアメリカを見てみると、バイデン痴呆症大統領の次にはあの狂気のカマラ・ハリスが跡を襲ふことになるので、これも不適格者ですから、第三位の政治家の選出を、そしてさらにまだこれもAOC(頭の・おかしな・コルテス)の大統領選出になるかも知れないので、国民が納得するまで同じアルゴリズムをN回繰り返す規定にしなければなりません。

まあ、とにかく、今アメリカは大変である。日本はこの宗教戦争に巻き込まれないように応ずるべきです。そのためには神道家または学者による国民のための武装理論の発表と説明をしてもらひたい。ここまできると、私は日本国内に潜む過激派であるといふことになるのであろうか。

*Mole Hole Letter*

(61)

## 超越論 II

～百年後の読者のために～

## 第四回

岩田英哉

何故いつも、三つの問題は大根畑を歩いてみると一挙に解けるのか、といふ話です。

私の家は下に湖を眺めた丘陵地帯の一番上にあつた。小学校は丘陵地帯の下、湖のほとりにあつた。家の玄関を出て左に道沿ひに直線に歩き、突き当たりのより大きな道路と交差するT字路を右に折れ、少し歩いて自動車も走る一番大きな道路を左折し、この急な坂を降つて坂下の十字路を左折すると一直線の長いだらだら坂で、その直線の終点に小学校の校舎が立つてゐた。そこが湖のほとりです。この道は普通に大勢の子供達の登校する道ですが、私はこの道を選ばなかつた。玄関を出て、最初のより大きな道路のT字路を（右折ではなく）左折をして。丘陵の一番高いところにある直線を行き、あるところを右折して、本来は道ではない草むらの間を少しばかりの急斜面を登つて、登り立つたところに黒土の大根畑があり、この畑の細い道を通つて、その向かうの縁（へり）に至り、更にまた急斜面を降りて、最短距離で一直線に丘陵を降つて校舎に至る道は私を選んで登校してゐた。

今、このやうに思い出せば、これは私の人生の道に対する考へ方そのものです。即ち、私はいつも例外なく、目的地に到達するための最短最速の直線距離を選んだ。間に何があらうが、それが何であらうが、要するに腕一本千切れやうが脚が吹き飛ばうが、とにかく最短最速の直線距離を歩いて目的地に到達する。これは日本の外にゐても同じであつた。

勿論、ここは丘陵ですから、道も真っ直ぐではなく、また丘陵の下に近づく住宅もあり、その前を通つて校舎の前の道に至る。時間でおおよそ、子供の脚で、20分。最近知つたことですが、私の生まれ育つた土地のこの地勢と風土は、地図を見ると、フランスの詩人ヴァレリーの生まれ育つた土地と、気温の高低と光の明暗のことを除けば、同じです。

ヴァレリーは、前は地中海、後ろは湖のこの二つの水に挟まれた、細長い帯のやうな土地に生まれて育つた。私もまた、前に太平洋の海が見え、そこに帯のやうな土地の上に道路が走つてゐて、海から見れば此の道路の向かうに湖がある。その湖の周囲が丘陵地帯といふわけで、その海と湖の両方の見える高台に私はゐた。だから、ヴァレリーは大陸フランスに似合はず、海の人であり、私も島国日本の内陸の盆地や平野部や山や谷に住む人間とは異なり、漁師ではないが、港町で生まれ育つた海の民である。



さて、問題は、何故いつも、三つの問題は太根畑を歩いてみると一挙に解けるのか、といふ話です。

行きとは逆の道を帰路にして、急斜面を登って黒土の太根畑に登って出る。そこから細い道が直線で畑の間を走っている。この走っている道の突き当たりで、道は90度で右折をし、急峻ではない短い坂道を登ると、登校の時によち登って立つた畑への入り口に至り、私は丘陵の一番上の人の歩く道路に出る。勿論かういふ土地であるから、人が歩いてある訳でもなく、いつも閑散としてゐる。

さて、問題は、何故いつも、三つの問題は太根畑を歩いてみると一挙に解けるのか。

安部公房全集の初期のものを読むとよくわかりますが、この安部公房といふ子供は学校へ行くと幾つもの問題を発見した。この問題といふのは先生が黒板に書く問題だけでなく、それ以外に此の教室といふ空間で此の子供の独自に発見する問題である。そして、発見して教室で解ける問題は教室の中で解き、解けなければ、誰のものでもない自分の宿題として歩きながら、また家に帰ってから解き方を執拗に考へた。勿論、それは後年に当時を想ひ出して詩にしてはゐるが、その時は誰にも口にする事はなかつた。編年体の全集が完結した後に、第1巻を読んで驚いたことに、私は安部公房に大変よく似てゐた。先に生まれりやあいいといふものぢやない、安部公房が私によく似てゐたのである。しかし、先に生まれた方が勝ちで、後で生まれた者は損だ、とさう思ふことがよくある。

私も毎日学校へ行き、教室で授業といふものを受け、また級友たちの話をするのを聞いてゐたり、また珍しいことに私が級友と話をする、解らないことだらけなのであつた。これを私は今問題と呼んでゐるわけです。第一先生の授業がよくわからない。同級生とも意思の疎通でうまく出来ない。話が行き違ふ。私はそれに気がつくが、相手は誤解に気づかずに一方的に話を続ける。私はそれを止める暇もなく要領も知らない。

かういふ生活の中で持ち帰る問題はなぜか太根畑を歩き始める時には、いつも三つになつてゐた。多分、三つ以上の場合があつたとしても、歩きながら考へて、それらは三つの問題のどれかの中に収斂してゐたのではないかと思ふ。だから、3といふ数字は重要な数字だと、多分この時に思つたのだらう。この3といふ数字については後述する。この3といふ数字についてはまた後述する。3といふ安部公房の存在論の階層の数字については『カンガルー・ノート』論（もぐら通信第66号から第69号）で詳細に論じた。

畑の中の細い直線の道を歩いて、頭と心を悩ませてゐる、突き当たりの直角の角を右に曲がるか否かの時に一瞬でいつも、三つの問題は一斉に一つのものとして解ける。これが不思議なことでした。解答を発見した私の内心の感慨は、ああ、この三つの問題は同じことなのだなあ……といふいつも同じ感慨であつた。安部公房全集の第1巻の中の中埜肇宛の書簡を読むと、二人で多分深夜まで前日に語りあつた哲学的な問題の解法が、どん詰まりの崖つぶち（S・カルマ氏の云ふ「世界の果て」）まで行つたところで、大事なことは「開示性の巧みな曲げ方」といふことだといふ話をしただらう、君にはわかつてもらへたと思ふが、これが問題の解法に大事なことなのだと、安部公房の昨日の議論の整理のための言葉があるが（『中埜肇宛書簡 第3信』全集第1巻72ページ上段）、それと同じことなのと思ふ。つまり、この書簡の安部公房は既にトポロジーといふ位相幾何学を知つてゐた早熟な数学の才を顕はし、成城高校開闢以来の数学の天才といはれてゐたから、それはさうに違ひないが、私の方は算数は全く出来ない子供であつたから、後年これはきつと大根の神様のお蔭だらうと思ひ、大根神社といふ神社がないのかとネット検索したら群馬の高崎の近傍に一つあつた。しかし、これはオホ・ネ神社と呼ぶのかも知れず。お参りに行かうと思つたが未だ行つてゐない。何しろ大根を主祭神にした神社など聞いたことがないから。

要するに、三つの問題がみな一つのこととして解けたといふことは一筆書きで問題を解いたといふことなのです。

しかし、とにかく、このやうな次第で、黒土といふ地味の豊かな大根畑の細い道を90度に曲がる角で問題は解決するのです。安部公房ならば「カーブの向う」といつた（『燃えつきた地図』）。また、時には夏かも知れませんが、この畑に入つたところに肥溜めがあつて、肥柄杓で叔父さんが大根畑に人糞を撒いてゐることにありましたから、この人糞のお蔭もあることだらうと思ひます。自然の中では、木山捷平の詩『ふるさと』ではないが、この人間の糞尿の臭ひといふものは実に良いもので、臭いことは臭いが、一寸その有り難みを何といつて良いのかわからない。都会の人には理解のできないことである。私に糞尿嗜好または糞尿学（スカトロロジー）嗜好のあるのは、全てではないが、このことに関係があるかも知れない。何故ならば、人は毎日口の穴から食物を入れ、尻の穴から糞マリをひり出すので、穴としてこの二つを一つのチューブの両端だと考へてこれを一捻りして一つに接続するとメビウスの環になるからです。つまり、入るところは出るところ、出るところは入るところといふわけです。始めは終り、終りは始まり。この位相幾何学的な論理は人糞を撒いて野菜を育てる心です。

大祓の天津罪の一つに、屎屁（くそへ）の罪といふのがありますが、これはどうも考へて来ますと、これは当初私は屎屁（くそへ）をとことろ嫌はずにすることが罪になることかと半信半疑でおもつても見ましたが、しかし、これが何故天津の罪になるのかの説明がつきません。神武初代天皇の妃の出生譚が、その母が川で糞マリしてゐる時

に、そのホトに川上から朱色の鏃（やぢり）の矢が流れて来て刺さつて懐妊し、その妃になる赤ん坊が生まれたといふことですから、これは何か人間の高貴さといふことと糞尿といふこととは、何処かで深く結びついてゐるに相違ない。初代天皇の妃の母が糞マリした時に娘を懐妊したと云ふ話は、神武天皇をイデオロギーとしがちな明治維新以来の日本人の思考停止状態を破壊する力があります。都会にみると野生を失つて古事記を理解することができなくなる。そして、神武天皇をイデオロギーとしてしまふ。これはさうではないといふ話は『縄文紀元論』で意を尽くして論じたので、此処では繰り返さない。

芥川龍之介は『好色』といふ平安時代の宮廷を舞台にした作品に糞尿譚を書いてゐる。主人公は恋焦がれて止まぬ女性の芳香発する大便をなんとかして手に入れ、最後にそれを口に入れて食するといふ願ひのかなふといふ話です。芥川はチューブの入り口に恋する美し女性の芳香漂ふ（尿（いばり）に浮かぶ糞マリを入れたいといふ願望であつたが、私の同類の願望は芥川龍之介とは正反対で、何故か恋焦がれた女性の入り口を既に（超越論）通つてしまつてゐて、いつの間にか（超越論）チューブの中で私は分解されてしまひ、最後に美しい女性の尻の穴から糞マリとなつてひり出されると云ふものです。舞台が平安時代で、芥川が大正時代にこれを書いたといふことに意味がある。優れた糞尿小説を二十一世紀に日本語で読みたいものですが、果たして今に平安時代の雅（みやび）があるかといふと、これが難しい。場所により、また女性の教養によるかも知れないが。意味のないカタカナ語のセクハラだとか環境保護運動などと云ふ共産主義的プロパガンダをその醜い口から垂れ流す女性は、何よりも自分の尻の穴から出てきた自分の糞が美しく見えるまで良く観察することである。

さて、人糞を大根畑に掛けて大根を育てることは少なくとも天津罪にはならないのです。といひますのは、この屎屁（くそへ）の罪の前にある罪は、この罪の列挙の前半は稲作に関係のある罪であり、後半の最後がこの屎屁（くそへ）の罪であつて、その直前の三つの罪は、串刺し、生き剥ぎ、逆剥（さかは）ぎといふいづれも生きてゐるものを何かで刺したり、皮を生きたままで剥いだり、逆剥ぎといふのは正しい皮の剥ぎ方の逆のやり方で剥ぐことなのか、あるひは最初からさういふ名前の悪である皮の剥ぎ方があるものなのか、いづれにせよ、生き物に関する罪の後に屎屁（くそへ）の罪が置かれてゐるからです。ですから、屎屁（くそへ）の罪とは、生きてゐる動物か人間の屎屁を大切にしない罪でありませう。してみると、都会生活の水洗便所などといふものは、これはみな天津罪といふことになつて、東京などは一寸やそつとでは穢れの被はれぬ大いに罪深い都会であるといふことになります。折口信夫も此の屎屁（くそへ）の罪について祝詞のことで論じてゐますが、今出典が見つかりませんでした。

岡野隆彦氏は、先の戦時中「昭和12年位」に内務省神社局による命令で、大祓の中の第二段の天津罪と国津罪の具体的な列挙を省略したので罪の名前が唱へられなくな

つたまま今日に至つてゐるといつてゐますが、私の持つてゐる『増補 神道大祓 かな付』（永田文昌堂/昭和十年二月十日発行/令和元年八月十日重版）にある「大祓詞 大正三年内務省選定（中臣祓の事）」の大祓で既に天津罪と国津罪が割愛されてゐるので、岡野氏の推測よりも以前の大正時代にこのやうな不敬極まりない命令が内務省より出されてゐたといふこととなります。この時から日本の国がおかしくなつて行つたといふこれは証明です。昭和十年・1935年。神道をいふなら最も本質的に重要な大祓の祝詞の、これも最も重要な天津罪と国津罪を割愛する命令に応じた神道側も神道側で、これは此処に於いてどんな理由があらうとも国家と共に自らを否定する罪によつて此の神道家たちは皆同罪である。死刑である。岡野隆彦氏が、何故この大祓の第二段の罪の列挙の大事かと云ふことの指摘を或る講義でしてゐます（『04.一番大事な祝詞は声に出さない』23：00から：<https://www.youtube.com/watch?v=fPjYbi1rOc0>）同氏曰く、戦争が終つたのであるから元に戻したら良いのだと云ふ言葉には全く私も賛成です。今の神道は、依然として第二段を省略したままのいい加減な大祓を奏上してゐますので、依然として二十一世紀の今も戦前のままの状態が続いて頹廢が続いてゐるのです。やはり延喜式の原文に戻すべきです。この今の神道家たちの国民に対する偽善と自己欺瞞と裏切りと無反省のある限り、日本の国は穢れ続け、穢れが塵芥か糞マリの如く堆積し続ける。一日も早く神道家たちが目を覚まして本道に帰ることを私は強く願つてゐます。ちなみに「一番大事な祝詞は声に出さない」と云ふのはこの通りです。これが祝詞の本質、沈黙です。この沈黙の言葉を神主はつぶやくやうに奏上しますが、声が小さすぎ、また速度が速すぎて、私にはいつも聞こえない。この夜の中の沈黙の中で奏上される祝詞が本来の祝詞の姿なのです。日本の祭りは本来夜に執り行はれるものであること、高天原といふ名前の示す高見をする天の原といふ名前を天の河と共に思ふだけで、海上の夜の世界が星辰の天蓋のもとに眼前に開けます。天の原に天の河が流れてゐる。これは夜です。他方、天（あめ）と海（あま）は同義なれば、天照大神の天（あま）の示すところに従ひ、この大神は昼の海を照らすカミなのです。

かうして、いつも人との意思疎通に悩んでゐた私が、このころ考へたのが次に述べる言葉の意味のモデルです。言葉の意味の総体は次のやうな形をしてゐた。言葉の意味の総体のモデルですから、私の最初の、言語モデル、といつてよいものです。

このモデルは静態的なモデルで、時間といふ因子が入つてゐません。しかし実際には私たちは時間の中で会話してゐますので、このモデルだけをみても実際の会話に

は役に立ちません。これを近代で最初に考へたのが、ポール・ロワイヤルといふ修道院の僧たちの考へた、デカルトの哲学と数学の肯定の上に成り立つポール・ロワイヤル文法でした。これを二十世紀になつてアメリカのユダヤ人の言語学者チョムスキーが復活させた。それが此の言語学者の生成変形文法です。この間の400年は、どんな分野であれ、それが政治であつて民主主義を標榜しようが、経済の分野で資本主義を標榜しようが、哲学の分野である偽哲学者ヘーゲルの名前を出さうが、要するに皆共産主義であり、共産主義化の過程であつた。お前たちは、デカルトの遺産を何も継承しないで、惰眠を貪り、貪るところか国際の世の中を共産主義で腐敗させて来たと言つて怒りに怒つたのが、チョムスキーです。チョムスキーの初期の論文に『デカルト派言語学』といふ論文があります。この、言語論史上の視点からみるとデカルトの哲学と数学の延長に位置する私の最初の静態的な言語モデルを時間の中に置いてみたらどのやうな姿に変形するのかと云ふ私の最終的な言語モデルは後述します。まづは、この最初のモデルです。勿論、私は言語学者ではないので、「言語論史上の視点からみると」と云ふのは、歴史的な後講釈に過ぎません。私の言語モデルは歴史の外部で生まれたものです。歴史とは時間の下位概念ですから、時間の外部で生まれた。時間の外部に存在してゐるのは、沈黙であり、闇であり、言葉のない世界です。沈黙から言葉は生まれる。上述の通り、これはカミのミチの世界、今でいふ神道の世界に（結果として）ほかなりません。これが何かは後述します。まづは、7歳の時の最初の言語モデルが、これです。

(続く)

## 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く

(16)

岩田英哉

## 目次

## I 縄文紀元日本語論

## 1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかゐらないのか？

## 2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

## 3. 五十音表を記号化する

## 4. 日本人の言語宇宙

## 5. 古事記の宇宙観

## 5.1 高天原とは何か1

## 5.2 カミとは何か1

## 5.3 高天原とは何か2

## 5.4 日本語の特殊の中の普遍

## 5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

## 5.6 天照大神とは何か

## 5.7 月読命とは何か

## 5.7.1 月とは何か

## 5.7.2 月読命とは何か

## 5.7.3 月読神社とは何か

## 5.7.4 ヤシロとは何か

## 5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

## 5.7.6 磐座と注連縄の関係

## 5.7.7 亀の甲羅とは何か

## 5.7.8 習合とは何か

## 5.8 カタカナとひらかなの関係

青字は既論の章、赤字は今回論ず  
る章、黒字はこれから論じる章

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてゐるのか

## 5.9 日本位相習合史

## 5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

## 5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌つてゐるのか

## 5.12 縄文土偶とは一体何か

## 5.13 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか

## 5.13.1 位相史のための紀元の種類

## 5.13.2 淤能基呂島とは何か

## 5.15 縄文土器とは何か

## 5.16 大祓へを読み解く

## 5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

## 5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

## 5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の種類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

## 5.16.4 八の音義は何を意味するか

## Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

## 5.16.4 八の音義は何を意味するか2

## 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか

## 5.17 紫式部の超越論『源氏物語』

## 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるのか

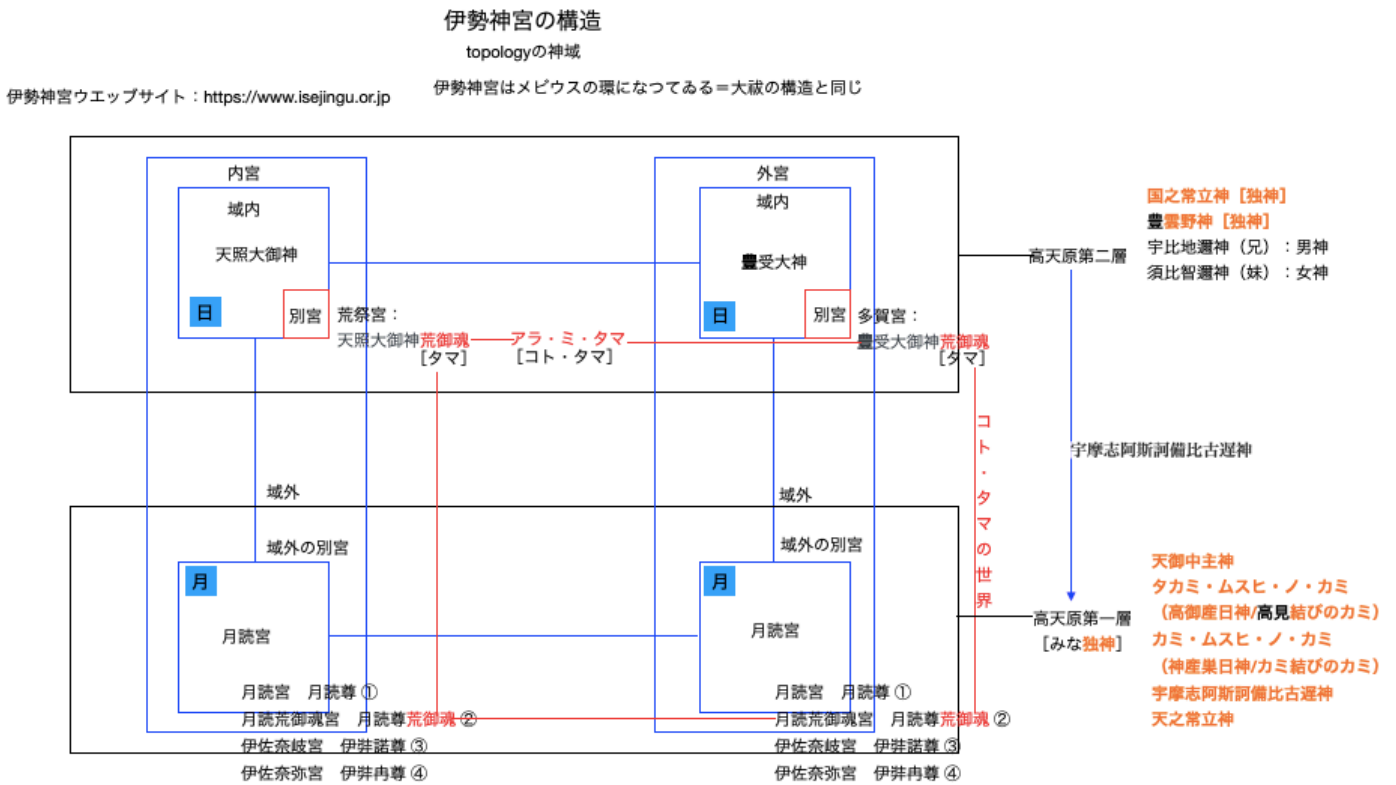
Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

掲題に答へたい。今伊勢神宮の上空から景観の全体を俯瞰した具体的な地形図を広げて、このやうな地図の中へと入つて行き、視線が此の神域の細部へと降りて行きながらものを書く膨大な情報量に接して、書くべきことが一章の紙幅を超えるでせうから、私はこの地図を敢へてみてゐません。ここでは、今年五月初旬に私が伊勢神宮に参拝した事実に即して此の見聞の事実を基軸にし、さうしてこれまで此の論考で知り得た事実を参照しながら掲題に答へたい。

1. 伊勢神宮の構造

伊勢神宮の構造は次の通り。図の後で解釈を箇条書きに列挙します。

私の立場は徹頭徹尾、言語です。



この構造図は伊勢神宮のウェブ・サイトの情報から再構成したものです。内宮・外宮の別宮には複数の神が祀られてゐますが、論題の本旨に関係する神々のみを図に取り入れました。必要があればその時にその他の神々にも言及します。ダウンロードは：<https://docdro.id/Hfvel00>

この伊勢神宮構造図より判明なることは次の通り：

- (1) この図は、内部と外部の価値の等価交換からなつてゐる。従ひ、
- (2) 外宮の御祭神、豊受大御神は、内宮の天照大御神の等価交換されたカミの別称である。
- (3) それが証拠に、二柱のカミは、大御神といふ名前を共有してゐる。また、
- (4) それが証拠に、それぞれの域内に別宮を持ち、その別宮には、それぞれの名前を冠した荒御魂が祀られてゐる。即ち、
- (5) 上図を以て判明の通り、二つの宮を接続するのは、一对のタマであり、即ちコト・タマである。接続とは結びといふことです。
- (6) ここでもう少し、俯瞰して此の平面図を眺めると、青い色の線と矩形で示した内宮と外宮および域外の二つの別宮から構成される四辺形が、内宮と外宮の世界の全体である。
- (7) これに対して、ズレた形で、否、設計上意図的にズラして、赤い色の線と文字で示した四辺形がある。これは、アラ・ミ・タマと呼ばれるコト・タマによる四辺形であり、内宮・外宮の4つの宮で構成される四辺形と釣り合つてゐるといふことである。何故釣り合つてゐるかといふと、
- (8) これらの四つのタマのうち、二つは内宮・外宮の域内別宮であつて、これらが外部に出た形で赤い線によつて描かれてゐるコト・タマの領域が生まれてゐるからです。即ち、
- (9) 内宮・外宮の内部が、これらの内包する二つの別宮にコト・タマを祀ることによつて、内部と外部が等価交換されて、内部が外部に外部が内部になつて、即ち伊勢神宮の二重の構造が一捻りされて、そのままメビウスの環となつてゐる。これは topology により、恰も二義的な位置にあるものが一義的な位置にあるものを実は統制をしてゐる統（す）べてゐるといふ縄文原理に適つてゐることです。このメビウスの環が大祓のメビウスの環と同じ構造を共有してゐることを既述のところからどうか想ひ出してほしい。国家格の祓である大祓と伊勢神宮の構造は一致してゐるのです。「高天原の神々のト占とは何か」図（もぐら通信第111号）を再掲します。

(次頁へ)





2019/12/29 岩田英哉	高天原の神々のト占とは何か		
		高天原にはそれ以上の上はない。 Topologyの世界ですから、高天原の上は地と海である。高天原に其の上はないのです。高アマガハラの高(高)とはさういふ意味であり、アマ(天)とはさういふ場所です。即ち私たちの宇宙観はメビウスの環を結ぶ(産霊)ことなのであり、三次元ならばクラインの壺の世界であるのです。このことを普段から心に銘記してもらひたい。さうすればあなたの心が浮つくことはなく、不安になることもないのです。私たちの宇宙原理： (1) 世界は差異である (認識論) (2) 価値は等価で遍在する (存在論)；	

(\*) 鹿をカノコからカコと呼ぶやうになつたのであれば、左右均衡で、左のカコ(鹿子)、右のカコ(水主・水手)といふ対称になります。

さてしかし、また別の視点でこの図を眺めると、

(10) さうでありながら、二つの宮の内宮と外宮に祀られてゐる天体は、共に日であり、域外の別宮に祀られてゐる天体は、共に月である。そして、

(11) 古事記の冒頭の天地初発の条(くだり)を読んで、これも自明の通り、高天原は三階層になつてゐるわけですが、その内の第一層は、コト・タマのネットワーク・結びに、また第二層は、内宮・外宮とそれぞれの域外別宮とで構成されるネットワーク・結びに、なつてゐる。ここまで説明が進むと、ここで、

(12) 何故外宮の御祭神が天照大御神である豊受大御神であるかといふ説明ができる。それは、このカミが高天原の第二層のカミであると判定できる理由は、豊といふ(英語の文法でいふ)前綴・prefixがついてゐるからです。高天原の第二層は日本の自然の豊かな国土と其処に生きる私たちの生活を超越論的に表してゐる階層でした。まづ何よりも国常立之神と呼ばれる秀麗なる霊峰富士山があり、豊かな雲があり(雲もまたカミである)、其処に初めて生まれた男女の兄妹カミがゐります。同様に、豊葦原瑞穂の国といふ名前は、豊と前綴のあることから、この名前でははれた国土は高天原の第二層にあるといふことを意味してゐるのです。また、かうして、

(13) 第二層に豊受大御神がゐりますならば、天照大御神も第二層にゐるといふ私の既述の理解は、これで、正しいことになります。さうして、

(14) 第一層には、最初に現れるカミの名は、天御中主神なのですから、この層に月読尊が祀られていても少しも不思議はありません。月読のミコトは、伊弉諾尊が右目を洗った時に生まれたミコトですから、この名前でも生まれたからには古事記にある通りに既にお祓ひがなされて生まれてきたものであるが故の、カミのままにカミでありながらミコトといふ名前で国津の世界にあるといふ存在です。伊弉諾尊は、高天原の第三層のカミですので、本来はそのまま其処にゐる筈ですが、しかし直ちにお隠れになつたといふことは、本来のカミに戻つて高天原の第一層に戻つたといふことであり、第一層にゐるカミの名前は、従ひ、天御中主神といふ名前ですので、このカミになつたといふことです。あるひは逆に、時間の存在しない超越論の世界ですから、このカミがなつて月読のミコトになつたと考へることもできます。ここで既述の月読のミコトの、海の民が夜の海上に船を出して航海してゐる時に、海風（あまなぎ）の大刃を月に向かつて立てて船の緯度を測定してみたことを想ひ出してほしい。これがさうならば、この航法は月距法（Lunar Distance Navigation）であることは、これも既述の通りです。また測定器具たる大刃（たち）を夜の天蓋に照準を合はせて当てる当の星が月でなければ、恒星である天常立之神であるかも知れないことは、このカミが北極星の、私たち日本人の超越論的な位相を移した天体の名前であることから、さう考へることができます。この航法とのことは更に事実確定のための研究を要します。

要するに私のいひたいことは、

月読みのミコトは月即ち天御中主神と一体となつてゐたであらうといふことです。さうであればこそ、月読みのミコトは現れてはすぐに隠れ給ひ、また、第一層出自のミコトとして、伊勢神宮の域外別宮にコト・タマとして祀られてゐるのだといふコトです。即ち、かくみれば、

(15) 高天原の第一層は、月読のミコトのタマであり、第二層は天照大御神のタマである。といふことは、

(16) タマには結びの力があることになります。そして確かに、第一層には結びのカミが二柱現れてゐる。一つはタカミ・ムスビ・ノ・カミであり、二つはカミ・ムスビ・ノ・カミである。複数のタマを結んで開いてをする力のある神は、神結びの神といふことに、かうして伊勢神宮の構造と構成要素を読むと、なります。これに対してタカミ・ムスビ・ノ・カミは、天皇・スメラミコトが国見をする時に、この国見が片葉で、もう片葉は沈黙と余白に置いて言挙げしないわけですから、言挙げせずに執り行ふ儀式が大倭日高見国の日高見で、これは大和盆地に国が定まつてから（座標”）象徴・シルシとしての山に登つて天照大御神である日を高く見るに際して、従ひ、コト・タマを結び開くカミがタカミ・ムスビ・ノ・カミだといふことが判ります。これがタカミ・高見といふ言葉の意味です。さて、

(17) 内宮・外宮の域内・域外にあつて、それぞれに二義的な位置にあるコト・タマの四辺に置かれたタマは皆アラ・タマと呼ばれてゐる。それでは、アラ・タマとは何かと問へば、

アラであるから、新たであり、従ひ、生まれたばかりのタマといふ意味である。荒の文字はやはりズラしてお祓をした文字である。荒々しいわけではない。何故なら、従ひ、和御魂（にぎみたま）も漢字が先にあるのではなく、やまと言葉が先にあつてこの文字を敢へてあてがったのであるから、これも荒御魂と同様にお祓のために文字をズラしたものである。即ち、にぎみたまであるならば、当然に瓊瓊杵尊の命名法にあるにぎにぎしさが備はつたタマである以上、これは天孫降臨の場合と同じで、スメラ・ミコトがその場所に天の下しらしめすスメラ・ミコトとしてやつてくる前に降り立つニギニギしきタマ、即ち、

ニギニギしくお祓をするためのタマであるといふことです。あらタマが新しいタマ、あらためるタマといふ意味であるならば、新ら御タマと賑ぎ御タマといふ二つのタマは同じ一つのタマであり、敢へて二つに分けたとしたら、それは二面一体としてそれぞれの面を、この内部と外部を等価交換する内宮と外宮の配置によつて表したものです。二つに分裂したのではなく、もともと一つのものを二つにしてその側面を表したのである。一つは、常にあらたなるタマ、（海の水に）洗われたるタマとして、二つは、常に天の下しらしめす・スメラ・ミコトがあらたに統（す）べる場所にあらたに降るニギ・御タマとして。即ち、もしお祓をして漢字をあてるならば、片葉は荒、片葉は和、といふ文字の配置は均衡が対称的に選択されてゐるといふことです。即ち、海が荒れれば、タマは新たになるでせう。そしてそれが新たならば、それはニギ・ミタマと呼ばれるでせう。しかし、文字面から意味をとらうとして意味を尋ねると、やまところの意味を私たちは失ふ。宣長のいふ通りです。漢心を以て漢字の文字の意味から入ると私たちは常に間違へる。荒魂と和魂が正反対のタマであるかの如くに読み間違へてしまふからです。私たちは、太安麻呂の偉業を継承して此れを大切にして、私たちにとつての漢字は皆、日本人である私たちに都合のよく当てた当て字だと考へた方が良い。

また、天（あめ）の浮橋と国うみの時に呼ばれる橋に相当すると考へられる橋が、実際に今でも南太平洋の諸島の海（あま）に浮いて使はれてゐるので（これなら海を掻き混ぜることができる）、これが天津国の海の橋であれば、それは当然に次元を上げて天（あめ）の浮橋と呼ばれることになりませんが、これと同様に、アラ・タマのタマもまた、実際に南太平洋の海の民の使用する魚をとるための玉であるのだと私は推測します。これは日本の海の民も漁労の時に海の上に出て使ふ今はガラス玉ですが、船と船の間に魚網を張り渡す其の網のへりに結ぶタマではないかと、アラ・タマのタマの、超越論上のタマの次元を落として実際のタマを想像すると、さう考へることができます。少なくとも、このやうに考へることで、現実にあるタマの姿に至る道

筋が開けると私は思ひます。実際のタマであらうと、形而上学的な次元を上げたタマであらうと、そのタマにある魂・タマシヒは変はらない。私は南太平洋に恐ろしく高度な文明があつたと考へてみます。近代ヨーロッパの迷妄を、煤払ひのやうにして祓へば、この文明は今でも其処にある筈です。

以上を、日と月といふ天体に関し、またそれぞれのカミである天照大御神と天之御中主神に関し、まとめると、伊勢神宮は高天原の一層と二層の具現化であり、自然の中での形象化であるといふこと。第二層は天照大御神といふ名の示す通りに、アマ・テラスのですから、アマは海でありますので、この神はそもそも海の上を照らす神であり、またこれに対して天之御中主神は、天地初発に最初に現れお隠れになる神ですから、夜の神であり、夜空に（天照大御神の光を受けて）輝く、夜の世界の海の神です。この二神をお祀りしたのが、伊勢神宮といふことになります。日本人の美意識の根底にある色は夜の海の青い色、従ひ日本書紀に滄と文字で表されてゐる色であることは既述の通りです。

### 古事記と伊勢神宮との関係

総体として、この伊勢神宮の構図を眺めますと、この神宮は古事記に徴すれば、伊弉諾・伊弉冉のミコトの国産みのあとの、それも伊弉諾ミコトから天照大御神と月読のミコトが生まれた以後の古事記の世界を、それ以前の天津の世界を前提に、トポロジーで位相幾何学的に一筆書きで再現したものです。

### 2. 月読宮とは何か

伊勢神宮の外宮である二つの宮と呼ばれる月読神社を尋ねて、境内に脚を入れて即座に知つたことは、この神社は海の底に存在してゐる宮であるといふことです。それならば、龍宮といふ宮もシロもありません。この御宮は、大祓にも出てくる海の民の海の分類である上・中・底のうちの底の形象の具現化された御宮であり神社なのです。その神域設計上の証拠を二つ挙げます。

(1) 一つは、玉砂利と呼ばれる白い丸い石の敷き詰められてゐること。これは南太平洋の諸島のカルデラでできてゐる海に素潜りで潜つて見ることのできる海底の光景なのです。南太平洋の島嶼群の海に潜つて調べて、同じ海底があれば、その周囲の島々が私たち日本人の最も古いふるさとです。あるひは、実際の海底に玉砂利がないとしても、海の白い底の、これは其の様子再現であると、私は玉砂利を踏みしめながら確信しました。龍宮城がさうであるやうに、この境内には時間が存在してゐない。域外の別宮とて、人影もありませんでしたが、これが、伊勢神宮の神域の設計とは別に、恐らく副次的に、そして自然におのづと現れた静寂の効果です。

(2) 二つは、神社の鳥居を潜つて直ぐ直面するのが、岬のやうな突堤をなす、左から右へと進路を妨害するやうに伸びてみて境内に入ると直ぐに直面する石垣です。この石垣の岬の右の先を迂回して、少しこれに沿つて歩いて、岬の根本に至り、そこで

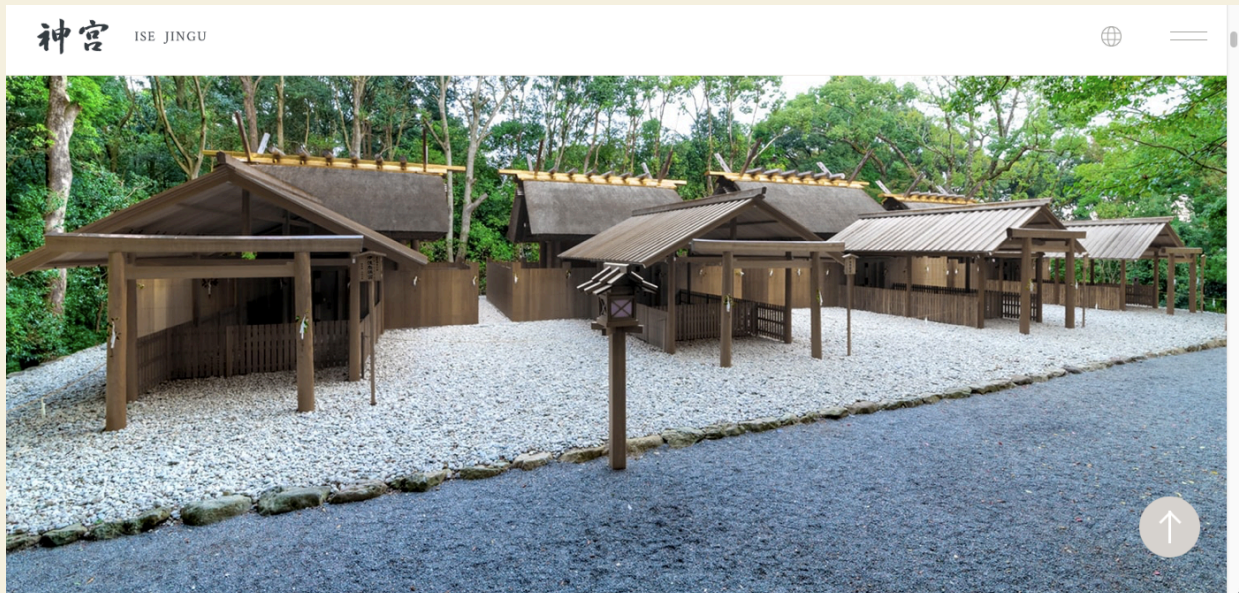
右手に体を向けると、拝殿の正面に向き合ふことになる。といふ神域の設計をしてみます。普通の、鳥居に向かつて一直線に進む表参道の設計ではありません。あるひは、この突堤は栈橋かも知れない。

(2) 内宮の域外の月読宮には、四つの社があるのは上掲図の通りです。これらの名前を見ると、漢字といふ（日本語との間に）ズラして（隙間をつくり）穢れを大祓するための仮面を剥いで、素直にやまと言葉の命名に接すれば、この四柱のカミの名に含まれる語幹ともいふべき構成要素の名前は、すべて海の民に関係する名前で、それは次の通りです。

- ①月（＜月読尊）：月読尊とは何かについても既述の通り。
- ②波（＜イザ・波・ノ・ミコト）：イザなふといふ動詞については既述の通り。
- ③凧（＜イザ・凧・ノ・ミコト）：イザなふといふ動詞については既述の通り。
- ④玉（＜コト・タマ）：コト・タマといふ概念についてもこれまで既述の通り。

以下、伊勢神宮のウェブページにある写真を転載します。写真ではとても写すことはできないことを承知で、少しでも神域の風情をしのんでほしい。

#### 内宮の域内別宮としての月読宮



内宮の域外社としての月読宮の神域は、カメラで撮影しようといふ気持ちが起きませんでした。四つに並ぶ小さな社の撮影を忌み憚る何かがありましたので、とても撮ることができませんでしたので、伊勢神宮のウェブサイトの写真を転用します。

神宮 ISE JINGU



以下の玉砂利の写真は論者撮影のものです。



最後にまた余談を一つ申し上げたい。

私が伊勢神宮の内宮を訪（おとな）ふたのは、令和三年・西暦2021年5月8日でした。内宮をお参りして、標識に従ひ順路を通つて、五十鈴川に架かる宇治橋を渡り切つた直ぐそこ右手にある掲示板の催事の広告の貼り紙をみようとする前に、突然目の前に八咫鳥が出現した。今回で三度目です。しかも、最も近く眼前に姿を現した。手を伸ばせば体に触ることのできる至近距離です。写真を撮らうとも思ひましたが、カメラを取り出す時間が惜しい。やはり、自分の眼で見る事が大切と思ひなほして凝（ぢ）つと鴉を見つめました。しかし本当の気持ちをいへば、確かに伊勢に来て伊勢神宮にお参りをすると、きつと何か起きるだらうとは思つてゐて、その心構へはしてゐたつもりだつたのです。しかし、しかも内宮参拝後宇治橋を渡り切つた其処で間髪を入れずに目の前の掲示板の上辺に突然出現すると思ひもしなかつたので、気が動転してゐたのです。ですから、この大鴉がまたふと姿を消して、地面に降りて灌木の茂みの間を歩いてから左手下から出てきて飛び立ち、弧を描いて左向かうの角を曲がつて消えてしまふまで、私は茫然自失といふ体たらくでゐるよりほかなかつたのです。

これは、誰がどう考へても、いよいよ、内宮参拝の直後ですから、しかも場所も場所、天津神の世界から宇治橋を越えて国津神の世界へ帰つて来た其処に突然現れた。古事記や日本書紀にある通りの、大きな鴉でした。私に左側の体を見せ、顔も大きく、そこにある眼玉も大きく、不思議なことに横顔一杯に大きいかとみまがふやうな真円の形の眼をしてゐた。そして、激しく眼玉をキョロキョロ動かして、何かを私にしきりに訴へてゐる。私をよく見なさいと言つてゐるやうにみえた。八咫鳥は、これまでの二回を振り返り、この三度目を振り返ると、常に私の注意を引くやうに私に働きかけてゐる。それも、しかも、私がそこに行くことをあらかじめ予知してゐて、いつも待つてゐる。これは一体どういふことなのであろうか。以下に掲示板の写真を遠近両方並べますが、この掲示板の周囲は灌木であつて、鴉は空から舞い降りたのではなく、わざわざこの多分右手の茂みの中に隠れて私を待つてゐたのである。八咫鳥の体は、掲示板の上辺の半分位の大きさがあつた。この写真は、八咫鳥がまた忽然と姿を消して、私がお陰横丁で、私がそのあとを左手に角へ道を渡り（渡りながらの右手はお陰横丁である）、鴉のあとを追いかけても姿なく、虚しく戻つて来て撮つたものです。

これまでの叙述のどこかで書いたやうに、天体は生きてゐて、一個の生命体であるので、日も月も私たちに語りかけて来るといふこと、私たちにはその声を聞く力が備はつてゐるので、大祓にある通りに高天原の神々にも「聞こし召せと事依さし給は」れば、その声が聞こえるといふことです。だから、日と月といふ昼と夜の世界の中心にゐる天体を祀り、それぞれが語りかける神として祀られてゐる伊勢神宮に、この神域に、高天原が現実に存在してゐる。

10

# もぐら通信

陸奥国竹駒神社に奉納する





追記：近傍にある松坂なる山室山の本居宣長の奥津城を尋ねたので、その時のメモをそのまま引きます。アンドレ・マルローは那智の滝の前に立つて、そこに光の射す不思議な天啓とも呼ぶべき経験をしたさうですが、伊勢内宮の参拝に続き、この私の経験もメモであれ残す価値があるかも知れません。

「本居宣長の奥津城を尋ね

今日は伊勢は晴れ、今日の予定は風の吹くまま、気の向くまま、宣長さんの山室山なる奥津城にお参りして来た。

駅からタクシーで山の上辺の駐車場まで、下車して更に徒歩二十分の急坂の登坂。多分この山の一番高い所に奥津城があつた。自然に神式の礼拝となる。黙って居ても頭べが垂れる。しばらくそこにゐて、そして最後に奥津城の周りを一周して、お別れをしようと奥津城の正面に立つと、その奥津城の木々も含めた空間にあつた光がふと翳り、頭べを下げようとするや光りが静かに明るく照り映えた。これは何か起きてゐると私は思った。私は光の中でしばし頭を垂れた。

時刻は、図らずも、二日前に八咫鳥の現れたのと同じ時刻であつた。

科学者は偶然を否定し必然をもとめる。しかしある量子力学のコンピュータの本にあつたやうに、量子力学の究理の結論が、自然と人間のコミュニケーション・意志疎通の問題だったといふこと、それが事実ならば、これも事実です。私が宣長さんより何を授かつたのかは、今の私にはわからない。時間をかけて謎は解ける。

世界は差異である（認識論）

価値は等価で遍在する（存在論）

この二様一態・二態一様、これが宇宙の原理である。

昨日伊勢市の駅で乗ったタクシーの運転手さんはタクシーの運転手に転職した時に（人生の大きな転換期に違ひない）自分の目の前に蛇を頭にのせて立つた女神は天照大御神かも知れないと言っていました、さうではないかと私も思ふ。これから伊勢参りをしようといふ私に、何故初めて乗せた客であるのに、問ひもしないのに、そんなことを語り始めたのかもわからない。この女神が現実に目の前に立つと、物凄い衝撃を感じて体が後ろに吹つ飛んださうである。この運転手もまたミコト持ちなのであらうと今思ふ。タクシーの窓から遠くに見える伊勢神宮の森の青々とした姿に確かに私は神威を感じてゐたからである。」

前章までの3章で、国学者賀茂真淵と本居宣長の超越論、即ち前者の認識論と後者の存在論に基礎を置いて聖徳太子から鎌倉仏教までの神仏習合のことをまとめましたので、「日本列島位相史(v12)ー神仏習合を入れた版ー」を作成しました。本居宣長の奥津城を拝したお蔭かも知れない。神仏習合を入れたので、この位相史は、ほぼ完成ではないかと思ひます。いづれにせよ必要に応じて以後もアップデートします。ダウンロードは：<https://docdro.id/IsVDqsU>

#### 5.16.4 八の音義は何を意味するか2

(続く)

Topologyで日本の文化を解説する「内なる境界シリーズ」

(12)

扇

岩田英哉

あふぐなら いぶきどのかみ ゐたちなむ たれもかれもが みなかみがゆゑ



## 編集後記

- 巻頭詩（23）：心：『無名詩集』にある二つ目の詩です。
- 周辺飛行（48）：4。『安部公房スタジオ会員通信』（3）：第3号：これも懐かしい読者には懐かしく、未見の読者には新しく、それぞれに読まれよかし。
- 『文章読本』論（2）：2。1885・明治18年：坪内逍遙（26歳）安政生（江戸幕末）：『小説神髓』：26歳の若者がこんな立派な理論的な書物を著すことができたとは驚きです。坪内逍遙その人もさうかもしれないが、しかし江戸時代そのものが大人の文化に成熟してゐたといふことです。
- 私の本棚（37）：ベン・シャピロ著『アメリカを簡単に破壊する3ステップ』：日本語訳が出たら、是非お読みください。必読です。私たちはハリウッド制作の西部劇をたくさんみてきたが、アメリカについて、アメリカ人については、今まで全く無知であつたのです。
- Mole Hole Letter（61）：超越論 II（第四回）：ゆるゆると歩む大根道。
- 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（17）：Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か：これも書くことができ満足してゐます。何か特別なことを書いたといふ気が全くしません。

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館  
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集子自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。